

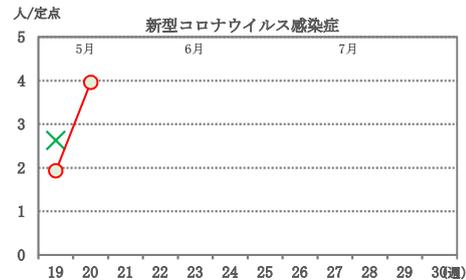
長崎県感染症発生動向調査速報（週報）

2023年第20週 2023年5月15日（月）～ 2023年5月21日（日） 2023年5月25日作成

☆定点報告疾患（定点当たり報告数の上位3疾患）の発生状況

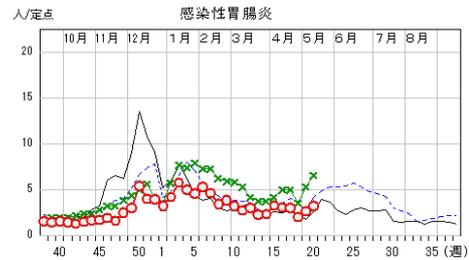
（1）新型コロナウイルス感染症

第20週の報告数は277人で、前週より142人多く、定点当たりの報告数は3.96であった。
 年齢別では、10～14歳（42人）、50～59歳（35人）、30～39歳（31人）の順に多かった。
 定点当たり報告数の多い保健所は、県南保健所（6.75）、県北保健所（6.00）、対馬保健所（4.67）であった。



（2）感染性胃腸炎

第20週の報告数は141人で、前週より25人多く、定点当たりの報告数は3.20であった。
 年齢別では、1歳（18人）、3歳（17人）、4歳（17人）の順に多かった。
 定点当たり報告数の多い保健所は、県央保健所（7.29）、西彼保健所（4.00）、長崎市保健所（3.80）であった。



（3）ヘルパンギーナ

第20週の報告数は112人で、前週より47人多く、定点当たりの報告数は2.55であった。
 年齢別では、2歳（36人）、1歳（25人）、3歳（15人）の順に多かった。
 定点当たり報告数の多い保健所は、県北保健所（5.00）、長崎市保健所（3.90）、佐世保市および県央保健所（3.00）であった。



○ 当年(長崎県) 前年(長崎県)
 × 当年(全国) 前年(全国)

☆トピックス・季節情報

【新型コロナウイルス感染症】

第20週の報告数は277人で、前週より142人多く、定点当たり報告数は3.96でした。地区別では、県南地区（6.75）、県北地区（6.00）、対馬地区（4.67）が他の地区より多くなっており、西彼地区を除くすべての地区で前週より増加しています。

本疾患の主な症状は、発熱、咳、全身倦怠感等の感冒様症状で、主に飛沫感染や接触感染により感染します。令和5年5月8日より、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」における類型が「新型インフルエンザ等感染症」から「五類感染症（定点把握）」に変更されました。

今後も場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

【感染性胃腸炎】

第20週の報告数は141人で、前週より25人多く、定点当たりの報告数は3.20でした。地区別にみると県央地区（7.29）、西彼地区（4.00）、長崎地区（3.80）は他の地区より多くなっています。今後も予防に努めましょう。

本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診しましょう。

【ヘルパンギーナ】

第20週の報告数は、前週より47人多く、定点当たりの報告数は2.55でした。地区別にみると、県北地区（5.00）、長崎地区（3.90）、佐世保および県央地区（3.00）は他の地区より多くなっています。多くの地区で前週より増加していますので、今後も動向に注意が必要です。

本疾患は、発熱と口腔粘膜に現れる水疱性発疹を特徴とし、夏期に流行する小児の急性ウイルス咽頭炎です。4歳以下の乳幼児が中心で、例年6月から7月に患者数のピークが認められます。

主な原因はエンテロウイルスです。県内で4-5月に採取された検体から、エンテロウイルス属のコクサッキーウイルスA2、A10、B5が検出されています。

エンテロウイルスの感染経路は、飛沫感染と患者の便に汚染されたオムツや下着、器物からの接触感染（糞口感染）です。便からは1週間から4週間にわたりウイルスが検出されるため、回復後も感染源となり得ます。保護者は乳幼児に手洗いを励行させて、感染防止に努め、体調管理に気をつけてあげましょう。

★トピックス：腸管出血性大腸菌感染症に注意しましょう

腸管出血性大腸菌感染症は、O157やO26をはじめとした「腸管出血性大腸菌」による感染症です。

主な感染経路は、菌に汚染された食品や患者の便で汚染されたものに触れた手を介した経口感染です。2日から9日の潜伏期間の後、腹痛・水様性下痢・血便などの症状を呈します。無症状の場合もありますが、発症者の約6%から7%が、溶血性尿毒症症候群（HUS）や脳症などの合併症を起し、時には死亡することもあります。特に、抵抗力が弱い小児や高齢者等は注意が必要です。

県内では、2023年第20週までに腸管出血性大腸菌感染症が12例報告されています。

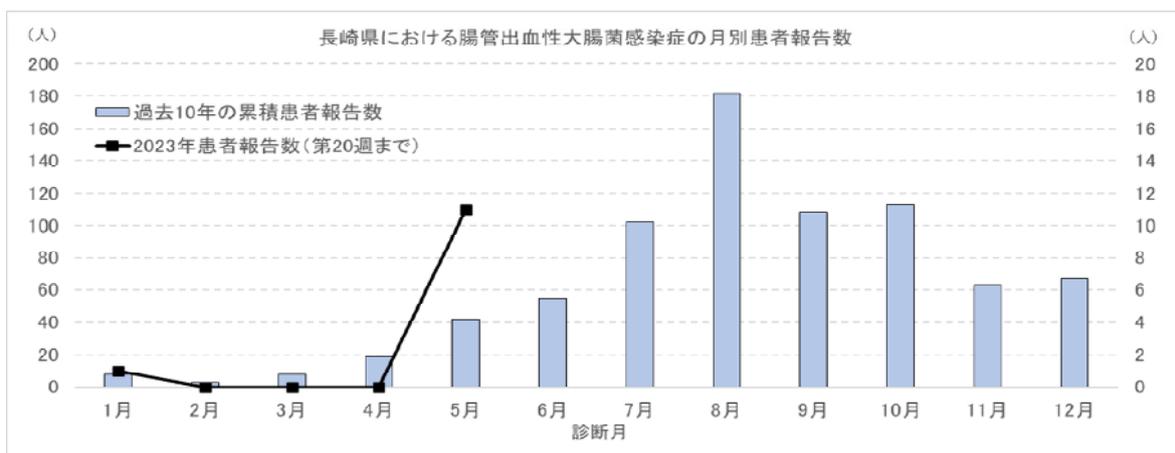
例年5月ごろから報告数が増加する傾向にあります。次の点に気をつけて感染予防に努めましょう。また、症状があるときは速やかに医療機関を受診しましょう。

○外出から帰ってきたときやトイレ・オムツ交換の後、調理・食事の前には石鹸と流水で十分に手を洗いましょう

○肉類を調理する際は十分に加熱しましょう

○生肉を調理する際、器具は専用のものにするか、使用后すぐに十分な洗浄・消毒をしてから他の調理に使用しましょう

○下痢症状のあるときは入浴は控え、シャワー浴または最後に入浴しましょう



新型コロナウイルス感染症の発生状況（2023年第20週：5月15日から5月21日）

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、2023年5月8日より、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」における類型が定点把握対象の5類感染症に変更されました。

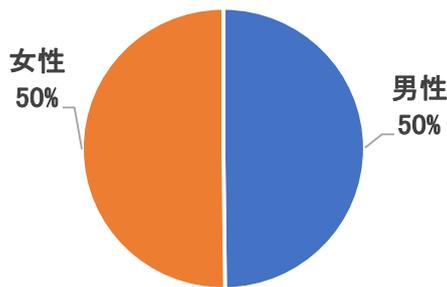
5月8日以降は、県内の人口等を勘案して選定された70医療機関（インフルエンザ/COVID19定点）から、1週間（月～日曜）にCOVID-19と診断された患者数が週に1回報告されます。報告のあった県全体の患者数を集計し、本週報で毎週（原則木曜日）公表しています。

2023年第20週の新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数は、前週の「1.93」より増加し、「3.96」でした。保健所別では、県南保健所が最も多くなっています。また、年齢別では、10代が多くなっています。

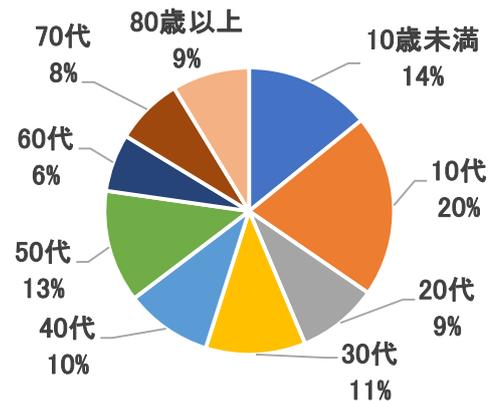
今後も場面に応じたマスクの着用や手洗い、換気、三密の回避などの基本的な感染対策に努めましょう。

| | 長崎県 | 長崎市 | 佐世保市 | 西彼 | 県央 | 県南 | 県北 | 五島 | 上五島 | 杵岐 | 対馬 |
|----------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 報告数 | 277 | 78 | 31 | 9 | 43 | 54 | 24 | 4 | 7 | 13 | 14 |
| 定点数 | 70 | 17 | 11 | 6 | 11 | 8 | 4 | 4 | 3 | 3 | 3 |
| 定点当たり報告数 | 3.96 | 4.59 | 2.82 | 1.50 | 3.91 | 6.75 | 6.00 | 1.00 | 2.33 | 4.33 | 4.67 |

性別割合



年代別割合



保健所別年代別報告数

